

令和2年度 第2回三木市文化財保護審議会次第

日 時：令和3年3月19日（金）  
午後1時30分～午後3時  
場 所：みき歴史資料館 3階 講座室

1 開 会

2 報告事項

令和2年度文化財保護事業実績について【資料1】

3 協議事項

- (1) 令和3年度文化財保護事業実施計画について【資料2】
- (2) 市指定文化財の指定計画について【資料3】（非公開）
- (3) 市指定文化財の指定について【資料4】  
(諮問第1号)「与呂木古墳出土石枕」

4 その他

5 閉 会

三木市文化財保護審議会 委員名簿

	役職	氏名	分野	備考
1	会長	西阪 義雄	考古・石造品	再任
2	副会長	宮田 逸民	中世城郭史	再任
3	委員	黒田 久美	郷土史・宗教史	再任
4	委員	藤田 均	郷土史	再任
5	委員	伊賀なほゑ	中近世都市史	再任
6	委員	依藤 保	中世史・文献	再任
7	委員	山田 貴生	民俗学	新任

※ 任期 令和2年6月1日から令和4年5月31日

## 令和 2 年度文化財保護事業実績について

## 1 事業実績

事業名	内容	実施日	実施場所
文化財保護審議会	〔第 1 回目〕 ・令和 2 年度文化財保護事業実施計画について他 〔第 2 回目〕 ・令和 3 年度文化財保護事業実施計画について他	10月 27 日  3月 19 日	みき歴史資料館
歴史・美術の杜推進事業関係 (1) 啓発関係	新型コロナウイルス感染防止のため、歴史ウォーク等は未実施		
(2) みき歴史資料館	企画展 ①タイコと三木	6月1日～ 8月10日	みき歴史資料館
	②別所町の遺跡	9月26日～ 12月6日	
	③三木町の地子免許特権と義民の『記憶』	1月16日～ 3月21日	
	「記念物 100 年」展 in 三木	8月22日～ 10月4日	みき歴史資料館
	企画展特別講演会 三木の「義民」伝承と顕彰行為 講師：長谷川奨悟氏（佛教大学宗教文化ミュージアム学芸員	3月6日	みき歴史資料館
	歴史資料館協議会	10月 8 日 3月 18 日	みき歴史資料館
(3) 三木城跡及び付城跡・土塁の整備	史跡危険木等伐採	4月、2月	三木城二の丸跡
埋蔵文化財維持・管理	遺跡管理除草作業 委託業者：(公社)三木市シルバー人材センター 直営：市職員	随時	三木城跡及び付城跡・土塁、正法寺古墳、与呂木青葉台古墳、愛宕山古墳、有安2号墳他

埋蔵文化財発掘調査等	開発等にかかる緊急調査 ①工事立会 4件 ・高木陣屋跡 ・殿畑開進遺跡 ・久留美宮の西遺跡 ・御坂黒岩前遺跡 ②試掘・確認調査 4件 ・宿原城跡 ・平井1号墳 ・跡部村山ノ下付城跡・跡部東谷遺跡 ・平井村中村間ノ山付城跡 ③本発掘調査 1件 ・跡部村山ノ下付城跡	随時	市内
展示公開	別所ふるさと交流館埋蔵文化財展示室において、別所町の遺跡等を紹介。2月にリニューアル。	4月～3月	別所町下石野
文化財実態調査	『三木の石造品 III－別所地区編－』作成のための調査を実施。 調査ボランティア 3人	4月～3月	市内

## 2 講演等派遣事業

依頼元	内 容	講師	実施日	実施場所	参加者
三木市職員退職者会	三木合戦 平井山をめぐる	金松誠	10月17日	みき歴史資料館他	6人
兵庫県立図書館	三木城及び付城市群に迫る！	金松誠	1月16日	兵庫県立図書館	30人

## 3 図書の発行

書籍の名称	編集・発行	発行部数	発行日
三木市文化研究資料第35集 『与呂木古墳・与呂木12号墳』	三木市教育委員会	350部	1月31日

## 4 文化関係団体の育成及び活動支援

事業名	内 容	実施日	実施場所
地域文化財総合活用推進事業	伝統文化の保存団体が地域の伝統文化を継承するため実施する伝承者等の養成、用具等の整備、映像記録の作成に対し、文化庁の補助事業によって	4月～3月	市内

	<p>一定の限度額の範囲で事業支援する。</p> <p>1 伝統文化継承基盤整備事業 祭りの屋台・獅子舞等地域の文化遺産継承のために用いる用具の新調・修理事業 新調・修理した用具を使った体験事業や一般公開を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下町屋台保存会 支援内容 布団屋根一段目・二段目の修理、赤羅紗の修理、高欄掛けの修理、高欄修理、房（中・大）の新調、後継者養成</li> <li>・平田町屋台保存会 支援内容 赤羅紗の修理、天幕の修理</li> <li>・宿原屋台保存会 支援内容 昼提灯の修理、ハナス（天狗）衣装の新調</li> <li>・御坂神社太鼓保存会 支援内容 旧安福田屋台台車の修理</li> <li>・石野町祭り保存会 支援内容 布団屋根の修理、跳高欄の修理、バチ桧材の新調</li> <li>・新町屋台管理運営委員会 支援内容 泥台貫の取替、取り付け部・受け部の修理</li> <li>・六社屋台保存会 支援内容 泥台の修理、高欄の修理</li> <li>・高木子供屋台奉賛会 支援内容 拍子木・バチの新調</li> <li>・興治獅子舞保存会 支援内容 法被（子供用）の新調</li> <li>・大手町青年会 支援内容 法被の新調</li> </ul>		
--	---	--	--

## 令和 3 年度文化財保護事業計画について

新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式に対応し、感染防止対策を講じた上で、事業を実施します。感染状況により、変更する場合があります。

## 1 事業計画

事業名	内容	実施日	実施場所
文化財保護審議会	〔第 1 回目〕 ・令和 3 年度文化財保護事業実施計画について他 〔第 2 回目〕 ・令和 4 年度文化財保護事業実施計画について他	10 月頃  3 月頃	みき歴史資料館
歴史・美術の杜推進事業関係 (1) 啓発関係	歴史ウォーク① 近世絵図で歩く三木城跡	5 月 16 日	三木城跡
	歴史ウォーク② 愛宕山古墳・正法寺古墳コース	9 月 26 日	愛宕山古墳他
	歴史ウォーク③ 秀吉本陣跡コース	10 月 31 日	秀吉本陣跡他
	歴史ウォーク④ ホースランドパーク周辺付城跡コース	11 月 28 日	明石道峯構付城跡他
(2) みき歴史資料館	企画展① 三木城の縄張り	5 月 5 日～ 7 月 4 日	みき歴史資料館
	企画展② 描かれた三木合戦の城郭 ～木内内則作品展～	7 月 31 日～ 10 月 3 日	みき歴史資料館
	企画展③ 地域の史料たち 5 ～三木の染形紙～	11 月 6 日～ 1 月 16 日	みき歴史資料館

	企画展④ 某館巡回展	2月19日 ～3月21日	みき歴史資料館
	企画展特別講演会、歴史講座、体験教室	随時	みき歴史資料館
	歴史資料館協議会	2回	みき歴史資料館
(3) 三木城跡及び付城跡・土塁の整備	史跡危険木等伐採	随時	三木城跡及び付城跡・土塁
埋蔵文化財発掘調査等	開発等にかかる緊急調査	随時	市内
埋蔵文化財維持・管理	遺跡管理除草作業 委託業者：(公社)三木市シルバー人材センター 直営：市職員	随時	三木城跡及び付城跡・土塁、正法寺古墳、与呂木青葉台古墳、愛宕山古墳、有安2号墳他
展示公開	別所ふるさと交流館埋蔵文化財展示室において、別所町の遺跡等を紹介。	4月～3月	別所町下石野
文化財実態調査	『三木の石造品Ⅲ－別所地区編－』作成のための調査を実施。 調査ボランティア3人	4月～3月	市内

## 2 講演等派遣事業

依頼元	内 容	講師	実施日	実施場所	参加者 (予定)
播磨広域連携協議会	播磨の山城 「遺跡から見た三木合戦」	金松誠	11月20日	姫路市文化センター	250人

### 3 図書の発行

書籍の名称	編集・発行	発行部数	発行予定日
三木市文化研究資料第36集 『三木の石造品 III－別所地区 編－』	三木市教育委員会	350部	9月30日

### 4 文化関係団体の育成及び活動支援

事業名	内 容	実施日	実施場所
地域文化財総合 活用推進事業	<p>伝統文化の保存団体が地域の伝統文化を継承するため実施する伝承者等の養成、用具等の整備、映像記録の作成に対し、文化庁の補助事業によって一定の限度額の範囲で事業支援する。</p> <p>1 伝統文化継承基盤整備事業 祭りの屋台・獅子舞等地域の文化遺産継承のために用いる用具の新調・修理事業 新調・修理した用具を使った体験事業や一般公開を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下町屋台保存会 支援内容 高欄金具メッキ修理、台車荷重用ゴム車輪の取替、屋根ふんどし羅紗の新調、後継者養成</li> <li>・平田町屋台保存会 支援内容 長胴太鼓の修理、長胴太鼓四ツカンの取替</li> <li>・御坂神社太鼓保存会 支援内容 旧志染中屋台彫金金具の修理</li> <li>・新町屋台管理運営委員会 支援内容 水引幕の修理、昼提灯の修理</li> <li>・栄町公民会 支援内容 高欄掛けの修理、水引幕の修理</li> <li>・大村自治会</li> </ul>	4月～3月	市内

	<p>支援内容 運搬用台車の修理、 高欄掛けの修理、夜 提灯の修理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 東條町公民会 支援内容 欄干の修理</li> <li>• 芝町屋台保存会 支援内容 鳴り太鼓の皮の張替</li> </ul>		
--	---	--	--

## 三木市指定文化財の指定について

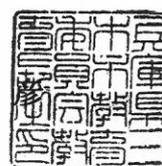
- 1 三木市指定文化財の指定について（諮問）  
（諮問第 1 号）「与呂木古墳出土石枕」（三木市教育委員会蔵）
- 2 文化財の所見  
別紙のとおり
- 3 文化財の実見

三木市指定文化財の指定について（諮問）

三木市文化財保護条例第6条第1項の規定に基づき、次の文化財を三木市指定文化財に指定したいので、三木市文化財保護審議会に諮問します。

令和3年3月19日

三木市教育長 西 本 則



- |   |        |   |
|---|--------|---|
| 1 | 文化財の種別 | 有形文化財（考古資料）   |
| 2 | 文化財の名称 | 与呂木古墳出土石枕   |
| 3 | 文化財の所在 | 三木市上の丸町4番5号   |
| 4 | 所有者    | 三木市教育委員会  |
| 5 | 文化財の概要 | 与呂木古墳の主体部である組み合わせ式箱形石棺内に設置されていた。単独の石枕であり、最長辺（横）41.3 cm、中央の幅約 22 cm、厚さ約 8 cmを測る。赤色顔料が石枕全体に付着している。被葬者は出土人骨から女性と鑑定されている。時期は5世紀初頭～中葉と推測される。 |

兵庫県下における単独の石枕の出土例は与呂木古墳を含めて4例あり、そのうち播磨では2例、東播磨では唯一のものである。

石棺の内部に石枕という特殊な石造物を有することから、被葬者がこの地域でかなりの権力を有していたことを彷彿させるものであり、また、赤色顔料の付着・使用は、大和王権との関係を示唆するものである。石棺の被葬者が女性であることも、当時の社会情勢等を考察する上で、考古資料としての価値は高い。

## 「与呂木古墳出土石枕」に関する所見

三木市文化財保護審議会  
会長 西阪 義雄

出土地：三木市与呂木字高野越 683-382 付近  
出土施設：与呂木古墳の主体部である組み合わせ式箱形石棺内  
時期：5世紀初頭～中葉  
所有者：三木市教育委員会

最長辺（横）41.3 cm、中央の幅約 22 cm、厚さ約 8 cmを測る。

平面のほぼ中央に、頭部と頸部を安置するため、径約 15 cm、最大深約 1.3 cmの皿状の薄い凹部とその凹部を囲むように幅約 1 cmの 2本の溝状の掘り込みを楕円状にめぐらしている。溝状の掘り込みの間の部分は陽刻した線のように丸みを帯びている。頸部にあたる部分は、わずかに側面より突出し、側面にかけてわずかな傾斜を造っている。

全体としてギリシャ文字のオメガ（Ω）に似た形状である。

赤色顔料が石枕全体に付着している。この顔料は酸化第二鉄である。

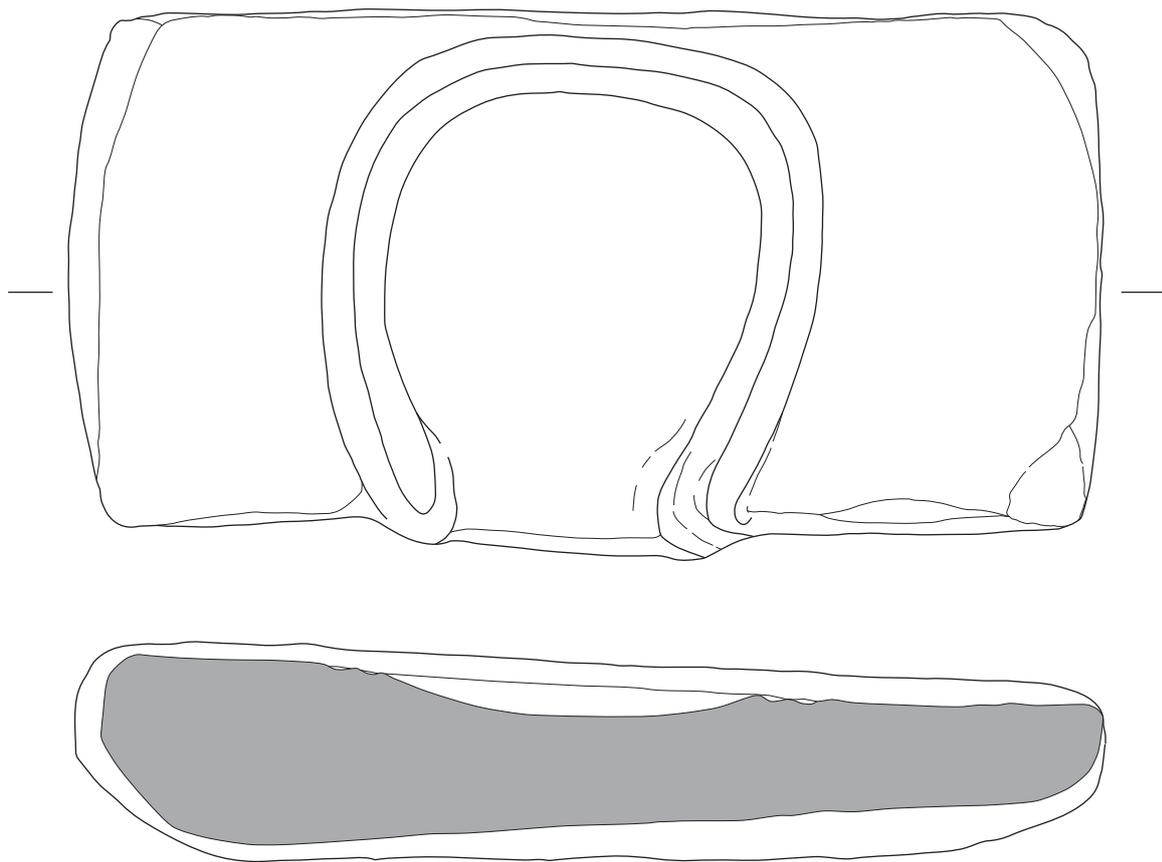
古墳から出土する石枕には、「造り付け石枕」と「単独の石枕」がある。造り付け石枕は、削り抜き式の石棺内に彫り刻まれたものをいう。単独の石枕は、石枕のみを移動あるいは取り出すことができる。西日本では、熊本県や香川県に、造り付け石枕の石棺が多く報告されている。単独の石枕をもつ古墳は奈良県や兵庫県で数例が報告されている。

石枕の出土例は全国で 120 例ほどが知られているが、千葉県には全国出土数の半数にのぼる単独の石枕が出土している。時期的には西日本より遅れて 5 世紀前半頃に始まり 6 世紀前半頃に姿を消すといわれる。

西日本では、時期的にはかなり限定され 4 世紀中葉に始まり、5 世紀になるとほとんど見られなくなる。

兵庫県では「単独の石枕」の出土は 3 例が確認できる。一つは神戸市伊川谷町の天王山 5 号墳で、他のそれは豊岡市の中ノ郷・深谷古墳群と上郡町の西野山古墳の例である。いずれも組み合わせ式箱形石棺内に設置されている。県下の出土例は与呂木古墳の石枕を加え 4 例を数える。

また、与呂木古墳の石枕は播磨では 2 例目になる出土で、東播磨では初めての出土例である。石棺の内部に石枕という特殊な石造物を有することは、被葬者（あるいはその属する集団）がこの地域でかなりの権力を有していたことを彷彿させるものであり、また、石枕に見られる赤色顔料（広義の朱）の付着・使用は、大和王権との関係を示唆するものである。石棺の被葬者が女性であることも、当時の社会情勢（父系社会への移行）等を考察する上で、考古資料としての価値は高いといえる。



与呂木古墳出土石枕 実測図



与呂木古墳出土石枕



与呂木古墳出土石枕 断面



与呂木古墳出土頭蓋骨 正面



与呂木古墳全景(北東から)



石棺内埋葬イメージ(西から)



石棺全景(西から)

様式第1号(第2条関係)

三木市指定文化財指定申請書

令和 3年 3月 5日

三木市教育委員会 様

申請者 住所(所在地) 三木市上の丸町10番30号  
(所有者等)氏名(名称) 三木市教育長 西本 則彦



三木市文化財保護条例第6条の規定により、次のものを三木市指定文化財に指定されるよう申請します。

指 定 の 種 別	有形文化財(考古資料)	員数	1
名 称	与呂木古墳出土石枕		
所 在 の 場 所	三木市上の丸町4番5号		
概 要	与呂木古墳の主体部である組み合わせ式箱形石棺内に設置されていた。単独の石枕であり、最長辺(横)41.3cm、中央の幅約22cm、厚さ約8cmを測る。赤色顔料が石枕全体に付着している。被葬者は出土人骨から女性と鑑定されている。時期は5世紀初頭～中葉と推測される。 兵庫県下における単独の石枕の出土例は与呂木古墳を含めて4例あり、そのうち播磨では2例、東播磨では唯一のものである。		
指定を申請する理由	石棺の内部に石枕という特殊な石造物を有することから、被葬者がこの地域でかなりの権力を有していたことを彷彿させるものであり、また、赤色顔料の付着・使用は、大和王権との関係を示唆するものである。石棺の被葬者が女性であることも、当時の社会情勢等を考察する上で、考古資料としての価値が高いため。		
その他参考となる事項			

(注)	住所(所在地)	氏名(名称)
その他の		①
所有者等		①

(注) 所有者等が、複数あるときに記入してください。